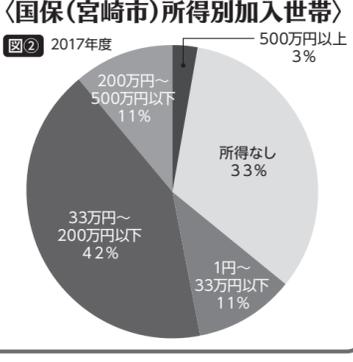
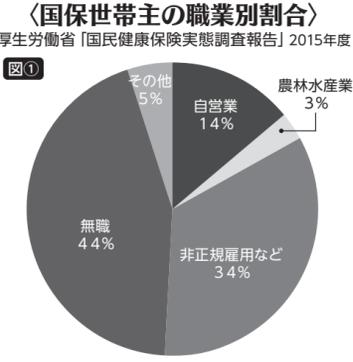


高すぎる国民健康保険料(税)の改善を

高すぎる国民健康保険料(税)が国民を苦しめ、滞納への罰則によって保険証を取り上げられた人が、受診が遅れて死亡するなどの悲惨な事態が相次いでいます。



国保は公的責任で保障される

国民健康保険(略称国保)は、人々の医療を受ける権利を公的責任で保障する医療保険です。運営のために国庫負担も投入され、国の社会保障として運営されています。国保は自助や相互扶助では支えることができない人々の医療保障を図り、「受診する権利」を保障するために、すべての国民が公的医療保険に加入する「皆保険制度」の土台として整備されてきました。

他の保険と比較して保険料負担率が高い

国保に加入されているのは無職の方が多く44%、ついで非正規雇用などの方が34%で全体のほぼ80%近く(図①参照)を占めます。収入が少ない方が多く加入しているために入ってくる保険料も少なくなります。また、65歳から75歳までの高齢者が多く加入していることもあり、医療費は多くかかり、必要な医療費を加入者に割り振るために保険料がどうしても高くなります。

国保加入者の8割は所得200万以下の所得(図②参照)にも関わらず、他の公的医療保険(協会けんぽ、組合健保など)と比較して保険料負担率が高くなっている状況です。保険料(税)が払えなくなり滞納をすると、保険証が発行されない、差し押さえされるというケースが増えていきます。また、国保料(税)は家族人数に応じて負担が増える「均等割」があり、子育て世代にはより大きな負担となっています。

国の責任で国保料(税)の引き下げを

こうした問題を解決するために、全国知事会、全国市長会、全国町村会などの地方団体は「1兆円の公費投入」など、国の財政支援により国保料(税)を協会けんぽ並みに引き下げることを求めています。高すぎる国保料(税)を引き下げ、誰でも払える保険料(税)にすることは、国民のくらしと健康を守り、医療保険制度安定のために必要です。国の責任で私たちのくらし、健康が守られるように国や自治体にはたらきかけていきましょう。(宮崎県社会保障推進協議会事務局長 高柳健)

「おげんきですか」文芸欄

おげんきですか文芸欄
おげんきですか文芸欄
おげんきですか文芸欄

おげんきですか文芸欄
おげんきですか文芸欄
おげんきですか文芸欄

＜審議・決定事項＞

- 7月度の組合員増やしは71名(目標116名)、出資金増資は514万円(目標937万円)、班づくり2班、班会開催77回でした。
- 宮崎地区で開催した「子どもの保健学校」には26名の参加がありました。
- サポーター養成講座は3ブロックで34名の参加がありました。
- 第42回九州神縄ブロック組合員交流研修会in鹿児島は63名の組合員が参加しました。記念講演や分科会、交流会の出し物等の報告がありました。
- 小松支部より仲間ふやしの取り組みの報告がありました。健康チェックに14名が参加。6名が組合員に加入し、2名が機関紙配布の協力員になりました。
- 平和と社会保障を守る取り組みでは、「沖繩普天間飛行場騒音問題」、「福島第2原発全4基廃炉」、「認知症予防介護の場」、「社会保障費5,300億円増」、「全国の被爆者14万5千人」、「生活保護世帯アレルギーや歯の病気が一般世帯の10倍」、「宮崎県の児童虐待最多」、「大学病院の無給医問題」、「救急車の稼働が9年連続過去最多」等の報告がありました。また新田原基地の米車格納庫、演習状況についての報告もありました。
- 6月の法人の経常利益は▲1,056万円(予算差▲686万円)、累計の経常利益▲66万円(予算差993万円)の到達でした。
- 地域密着型の定年延長、デイサービスの就業時間の変更、医系学生・介護学生の奨学金規定の変更について提案がありました。
- 病院事務局長から透析機器4,340万円(税込み)の提案がありました。前回の提案4,222万円から最新機種への変更経緯について説明がありました。
- 長期借入金(固定)について、宮崎生協病院附属棟建設費用として5億円の借入金を行います。借入予定は2019年11月、返済計画は15～20年です。
- 2019年度の監査方針と計画について報告がありました。「予算の作成方法と中身について精査する」との意見ができました。
- 総代会議長選出の手続き変更について提案がありました。

＜報告・承認事項＞

- 7月度各事業所の活動について
- 7月度医療安全管理委員会および患者確認について
- 7月度宮崎生協病院利用委員会について
- 7月度東連介護事業所責任者会議について
- 7月度組織経営委員会について
- 7月度経営協議会について
- 第30期第1,2回常勤理事会について
- 宮崎民医連第11期第2回理事会について
- 県社保協第4回幹事会について
- 人事について
- 不明組合員の調査状況について
- 宮崎生協病院健康まつりの日程について

以上の報告を承認しました。

みんなの声
◎附属棟の完成が待ち遠しいですね。文芸欄の短歌、流れるような文字が素晴らしいです。(宮崎市Iさん女性)
◎国を守る防衛については無防備では困るし、過剰防衛であってはなりません。多額の費用をかけなくてもすむような平和な社会になってもらいたいです。(宮崎市Kさん男性)

虹の声 宮崎生協病院虹の意見箱
8月度宮崎生協病院利用委員会

駐輪場のバイク置き場を東側か西側に決めてほしいです。自転車を止めていたら帰るころにバイク2台に挟まれて困りました。
現在、付属棟建設を行っておりますが、付属棟工事が終わったのちに、正面玄関周囲の改装工事を予定しております。ご指摘いただいた点を考慮した対応策を検討いたします。それまでの間、暫定的な対応についても検討させていただきます。

おげんき仲間へ配布協力員紹介
おげんき仲間へ配布協力員紹介
おげんき仲間へ配布協力員紹介

おげんき仲間へ配布協力員紹介
おげんき仲間へ配布協力員紹介
おげんき仲間へ配布協力員紹介

今、宮崎医療生協は 2019年7月末現在

■新規加入者	71名(7/1~7/31)	■総組合員数	49,859名
■出資金	5億9,209万円	■平均出資金	11,875円
■班数	300班	■おげんきですか手配り配布数	20,428部

原水爆禁止世界大会山長崎



8月7日から9日までの3日間、原水爆禁止世界大会以下、大会が長崎で開催され、宮崎医療生協から研修医2名、看護師2名、介護福祉士1名、事務2名、組合員さん2名が参加しました。9名の内、6名は今年4月に入職した職員です。宮崎医療生協は毎年、広島または長崎の大会に参加し、平和を守る運動に直接肌で触れる貴重な経験をしています。

1945年8月9日午前11時2分、広島に原子爆弾が投下され、瞬時に、数万人の人々が命を落としました。このような悲惨な歴史を持つ長崎で核兵器を使用しない、核兵器を廃絶する意志を持つ人々と平和運動に参加することを通して、核兵器の非人道性、戦争の悲惨さを認識しました。大会では日本のみならず、オーストリアをはじめベネズエラ、メキシコなど世界各国から核の廃絶を求め、開会総会には全体で約5,000人が参加しました。

現在、核兵器廃絶を求めて2017年7月に採択された核兵器禁止条約は、発効に必要な50か国の半分、25か国です。しかし、核廃絶に向かっていく世界の流れに反し、唯一の被爆国である日本は、まだこの条約に批准していません。私はこの現状を今回出かけた多くの仲間

と協力すれば必ず成し遂げられると感じました。閉会式で高校生が述べた「私たちは微力かもしれませんが無力ではない」という言葉を胸に、令和の時代に核兵器が世界から廃絶し、今回出かけた仲間と喜び合う日を目指し行動します。

新入職員も医療生協で働く職員として地域住民の願いに応え「医療と介護を展開していくためにも平和はなくてはならないもの」と改めて学びました。最終日には、職員および組合員さん、患者さんの願いが込められた千羽鶴を平和記念公園に供え、核兵器の無い平和な世界を祈りました。(宮崎医療生協事務 黒木貴洋)



めだかの学校



遺品整理・生前整理斡旋サービス

◎遺品の片づけ、清掃、庭の手入れ、リフォーム等の依頼
◎大量の不要品、分別困難な状態での片づけ

様々なお困りごとに対応します。まずは宮崎医療生協(担当:竹良弘貴)までご連絡ください。お見積りは無料です。(0985-23-7168)

施工前 → 施工後

支部活動紹介(小松支部)

小松支部では、班会開催(家族・地域・趣味・事業所)と、青空・まちかど・公民館健康チェック(スーパー店・野菜市場・地区公民館)、保健学校(①料理実習、②健康体操、③施設見学等)、各種行事の活動を毎年実施しています。

7月2日(火)13時30分開催の柏原集落研修センターでの健康チェックは、2011年を初めに今年で9年目になります。参加者が年々減少傾向となり、全戸案内チラシ配布と過去参加者へ電話かけを行いました。自治会長、班長、体操教室と地域の皆様のご協力14名の参加を得て、血管年齢・血圧・検尿・体脂肪率測定等の健康チェックと組織部より木場みち子さんから「血管の老化予防について」丁寧な説明がありました。

柏原地区では「おげんきですか」の配布率が低く支部の課題でしたが、「柏原地区組合員マップ地図」を作成し、配布協力員さんの募集をしたところ、2名の方が快く手配りを引き受けてくださいました。

茶話会では、医療生協の保健予防活動と生協病院の24時間外来診療体制、入院時の個室料(差額ベッド代)をいいただき、健診・予防接種・診断書代の割引等、組合員さんメリットの案内呼びかけ、活動に関心を持っていただき6名の仲間が増えました。地域と職員、運営委員の総勢での取り組みが成果につながり、今後も公民館健康チェック活動を大事に継続して、健康づくりの輪を広めたいと語り合いました。(運営委員 立川沢子)

健康チェックを通して6名の仲間が増えました。